

～環境学館いずみ運営ボランティアによる「いずみガイド」～

10月のデキゴト

10月23日(土)に坂戸児童センターで実施した「子ども天文教室」の感想を、いずみ運営ボランティアの2名からいただきました。

環境学館「いずみ」開館以来、初めての「合同企画」。

坂戸市児童センターの「こども天文教室 — みんなで、楽しく 星を見よう! 星を学ぼう! —」が午後5時から7時まで開催されました。参加者は児童センターが募集した10名、「いずみ」が募集した10名の1年生から6年生までの20名のこどもたち。

5時に開講式があり、児童センター館長の挨拶、職員・ボランティアの紹介、日程説明の後、1610年にガリレオが発見した木星の衛星、「イオ」「エウロパ」「ガニメデ」「カリスト」のグループ名4班に分かれて、参加者全員で天体観測をしました。

児童センターの2階、「天体観測室」に入って金星の観測、星座版作成、プラネタリウム室で星座版の使い方学習、園庭に出て星空の観測、再度天体観測室で土星観測、もう一度外に出て、木星観測と2時間があったという間の「天文教室」でした。

当日配布された16ページもある資料は「天文」に関心のあるこどもたちにも、送迎をして下さった保護者の方々にも、「天文」にうとい「いずみのボランティア」にも、眺めているだけで楽しくなってくる内容でした。

記 環境学館いずみ運営ボランティア R.T

『望遠鏡を使って星空を観察』『プラネタリウムで星座盤の使い方を学ぶ』のタイトルで、お手伝いというより「面白そう」と興味深々で参加。

23日は朝から快晴。早朝5時高麗川堤での散歩時、西の空高くに残っている月の下を国際宇宙ステーション『きぼう』が南西から北東へ流れるように動くのを眺めて「こども天文教室」参加が一層楽しみにワクワク。

夕方星空観察にはサイコーの空。我が担当は、5人のこどもたちとグループ『エウロパ』。「???なに?」100個以上ある木星の衛星のひとつの名前との事。初めて聞いた。が、こどもたちは知っている。天文に興味のあるこどもたちが参加してきたのだ。先生方の質問にもスラスラ答える。児童センターのプラネタリウムにも数回参加している子もいる。待ち時間中図書室で手に取るのは星座関係の図書。驚いた。坂戸に、こんなに天文に詳しいこどもたちがいることを。宇宙旅行のチケットが手に入るなら、即、手を挙げるだろうこどもたちと出会えたことが本日貴重なお土産を頂いた感じ。参加して新発見。

そうそう、望遠鏡で見せて頂いた木星の周りにいくつかの衛星は見えましたがそれが『エウロパ』だったか確かめるのを忘れた。ちなみに『きぼう』は木星並み<2等級>の明るさとの事。

記 環境学館いずみ運営ボランティア I.Y